

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 002	提案機関名 農業振興課
要望問題名 施設トマトにおけるスマート農業の経済性に関する検証	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 本県では、限られた施設面積でも自立的な経営ができる、都市型スマート農業の実現を目指して、中規模施設における ICT を活用した施設園芸経営モデル、速やかな具現化への方策等を検討するために研究会を設置する予定である。 しかし、現状では、中規模園芸施設に ICT 機器等を導入した場合のコストが課題となっており、スマート農業の実現のためには、経済性を含めた経営モデルの提案が必要である。そこで、モデルとして、施設トマトにおけるスマート農業の経済性について検証をお願いしたい。また、計画生産による販路の拡大等、販売面に対応した ICT 機器利用のモデルについても併せて検討をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	企画経営部
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	①、②、④の場合 ICT を活用した温室環境制御技術の開発及び経営モデルの構築		
対応の内容等	平成28年度から、上記試験研究課題の中で、施設トマトにおけるスマート農業の経済性について検討を行い、ICT を活用した経営モデルの提案を行います。 モデル作成においては、量販店など農産物を消費者に提供する実需者から生産への要望を収集し、施設トマト経営における最適な ICT 機器整備の条件等について検討しますので、生産だけでなく、販売まで含めて検討する予定です。 研究推進に当たりましては、研究会で収集された情報等を活用するとともに、得られた結果をフィードバックします。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			